

## 神奈川の研究者紹介

氏名	竹田 育広 (たけだ やすひろ)	
現職	横浜商科大学 商学部 観光マネジメント学科 教授	
主な経歴	<p>明治大学政治経済学部卒業 早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学 2019年4月より現職</p>	
専攻分野・研究テーマ	<p>サービス・マーケティング、観光サービス経営 地方中小都市の屋外遊園地の経営・マーケティング研究</p>	
主要業績 (これまで発表した著書、論文、行政委員の経験等)	<p>【最近の著書・論文】</p> <p>『日本社会に生きる中小企業』、第6章 日本の観光経済と地方遊園地の経営、分担執筆、中央経済社 (2018年10月)</p> <p>「中核市にある屋外遊園地の立地パターン —宇都宮市、富山市、豊橋市、前橋市の事例比較—」商大論集第55巻第1号 (2021年10月)</p> <p>【委員歴任・在任】</p> <p>福井県美浜町 (美浜町スマート・コンパクトシティ魅力創造拠点化事業地域づくり拠点化整備基本計画策定委員会委員、地域づくり拠点化整備事業PFI事業検討委員会委員)、千葉県茂原市 (「道の駅等都市交流拠点設置」検討委員会委員長)、奈良国道高峰サービスエリア利用計画検討委員会委員ほか。</p>	
神奈川県との関わり	<p>(公財)横浜観光コンベンションビューロー主催の「横浜 MICE 人材育成講座」キックオフシンポジウムにて、テーマ「MICE マーケットの可能性」の講演を行いました (2021年9月30日実施)。</p>	
メッセージ	<p>2018年頃から遊園地研究に加え、「移動 (ムーブメント/モビリティ)」の研究テーマを開拓しています。昨今のコロナ禍の影響から「移動」に関する意識は国際間でより高まっています。「社会が変われば移動が変わる、移動が変われば社会が変わる」をキャッチフレーズに、移動を分析して新たなビジネスチャンスを見つめたいと考えております。</p> <p>本学の鶴見キャンパスの新3号館 (開学50周年記念館) の屋上・商大テラスからは、お天気の良いときには京浜工業地帯、横浜ベイブリッジ、みなとみらい・山下公園エリアを一望できます。このフィールドで学んだ本学の学生の多くが神奈川県内に本社を置く事業所で働いています。これからは横浜市をはじめ、神奈川県内の各自治体、ならびにさまざまな業種の事業所とともに連携を取りつつ、教育・研究活動に邁進したいと考えております。</p>	
連絡先	<p>横浜商科大学 商学部 観光マネジメント学科 〒230-8577 神奈川県横浜市鶴見区東寺尾 4-11-1 E-mail: y.takeda@shodai.ac.jp</p>	

神奈川の研究者紹介

氏名	中村 純子（なかむら じゅんこ）	
現職	横浜商科大学商学部観光マネジメント学科教授	
主な経歴	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科比較文化学専攻後期博士課程単位取得修了、2001年横浜商科大学専任講師、2004年准教授を経て、2010年より現職	
専攻分野・研究テーマ	観光人類学、オセアニア地域研究 観光文化（観光芸術）研究、コンテンツツーリズム研究、災害と観光研究	
主要業績 （これまで発表した著書、論文、行政委員の経験等）	<p>【著書・論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『オセアニア学』 京都大学学術出版会（共著・2009年）</li> <li>・「グローバルな土産品と店舗環境にみる〔レプリカの構造〕」『横浜商大論集 第47巻第2号』（単著・2014年）</li> <li>『コンテンツツーリズム研究 増補改訂版』 福村出版（共著・2019年）</li> <li>・「津波モニュメント等に見る伝承と観光利用の状況分析―道南および三陸を中心に―」『横浜商大論集 第53巻第2号』（単著・2020年）</li> </ul> <p>【行政・委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横須賀市Sプロジェクト「シンポジウム」企画・パネル司会（2014年）など</li> </ul>	
神奈川県との関わり	神奈川県産業労働局中小企業部商業流通課派遣・湯河原明店街アドバイザー（2016年～）	
メッセージ	<p>【現在関心ある領域】</p> <p>災害と観光に関して、国内の津波常襲地帯の津波碑や儀礼、語り等の伝承と観光文化の関係について注目しています。これまでの南太平洋（ニューカレドニア）の観光文化研究に加えて、日本の「アニメ聖地巡礼」やキャラクターによる地域振興について関心があり、南砺市や湯河原などで活動しています。</p> <p>【神奈川県との連携に期待すること】</p> <p>神奈川県各地の歴史文化から生活文化を掘り下げ、また、サブカルチャーを利用することで、内外の人々に親しみやすい観光文化を提示するなど、これまで埋もれていた観光資源を県とともに発掘できればと思います。</p>	
連絡先	<p>横浜商科大学商学部観光マネジメント学科</p> <p>〒230-8577 神奈川県横浜市鶴見区東寺尾 4-11-1</p> <p>E-mail : anubette@shodai.ac.jp</p>	